

# まもれ！みどりのだいち

1



**ナレーション**

二千五十年 これはみんながお父さんやお母さんになっている頃のお話です。

町には車がいっぱい。大渋滞。

おかげで車と車がごっつんこ。車とみんなもごっつんこ。

救急車のピーポーくんは大忙しです。

2



**ふじおくん**

「この頃、せきがいっぱい出て困っているんだ。ゴホン！ゴホン！」

**ナレーション**

ふじおくんは毎日うがいをしているのに、せきが止まりません。

**たけしくん**

「目が痛いよー。」

**ナレーション**

たけしくんは目がまっかっかです。

3



**おばあちゃん**

「わたしが子どもの頃は、富士山がとっても綺麗に見えていたのに、今はすっかり空が汚れてしまつて…」

昔は、富士山に登る人もたくさんおつたんじゃないよ。

わたしもじいさんと一緒にきれいな景色を眺めたもんじゃった。」

4



**煙獣ガース**

「わっはっは！煙はうまいな。どんどん大きくなって、町を壊してやる！」

**たけしくん**

「大変！煙獣ガースにお山の木や花をめちゃくちゃにされちゃったよ！」

**ナレーション**

町の人が出てきて大騒ぎです。

**ふじおくん**

「このままじゃ、もうすぐぼくたちの町も壊されちゃうよ！」

5



**たけしくん**

「どうしてあんな怪獣が現れたんだろ。」

ガシャーン！バキバキ！

**ふじおくん**

「おばあちゃん、あの怪獣をやっつける方法はないのかな？」

6



**おばあちゃん**

「煙獣ガースは、工場や車から出る悪い煙を食べて大きくなる、こわい怪獣なんじゃよ。」

**煙獣ガース**

「煙はうまいな。たくさん食べて、もっともっと大きくなってやる〜！」

**おばあちゃん**

「これ以上大きくなったら、地球が壊れてみんな死んでしまうかもしれないの。」

**ふじおくん**

「そんなの嫌だよ！」

**みんな**

「宮バスくん、ぼくたちを助けて！」

7



**宮バスくん**

「みんな！ぼくに任せて！煙怪獣ガース、お前の好きにはさせないぞ！  
おい、電車ドン！一緒に煙怪獣ガースをやっつけるぞ！」

8



**電車ドン**

「みんなはいつもおうちの車に乗っていいけど、バスや電車に乗るようになれば、煙怪獣ガースの大好物の煙が減って、町も僕たちも助かるはずさ！」

**宮バスくん**

「さあ、みんな僕たちに乗って！」

**ナレーション**

大好物の煙が減って、煙怪獣ガースはお腹をすかせてすっかり小さくなってしまいました。

9



**宮バスくん**

「電車ドン！最後の攻撃だ！」

**電車ドン**

「超高速レールパンチ！」

**宮バスくん**

「必殺エコキック！」

**煙怪獣ガース**

「やられた〜」

**ふじおくん**

「あっ！煙怪獣ガースが小さくなっちゃった！」

**宮バスくん**

「これからもみんながぼくたちに乗ってくれたら、煙怪獣ガースはもう現れないよ。」



**おばあちゃん**

「あれまあ、富士山がきれいに見えてきたのう。」

**ふじおくん**

「車が減って、みんなにここにこしているね！」

**たけしくん**

「煙怪獣ガースもいなくなったよ！」

**ふじおくん**

「山にもお花がいっぱい咲いてるよ。みんなに乗ったら楽しいね。」

**みんな**

「宮バスくん、電車ドンありがとう！」